

福島大学では平成22年1月から キャンパス内が全面禁煙となりました



【全面禁煙の理由】

第1の理由

分煙によっては受動喫煙被害を防ぐことが困難だということ

喫煙室の煙がドアなどから漏れ出る、換気扇から排出された煙が再び建物内に流れ込む、といったことを防ぐことはできません。

第2の理由

大学敷地内は基本的にすべて公共空間だということ

学生寮の居室を唯一の例外として、大学敷地内に「私室」は存在しません。教員の研究室も、学生・教職員等多くの人々が訪れるオフィス空間と考えなければなりません。

第3の理由

大学が教育機関だということ

学生生活実態調査（平成18年）によると本学学生の喫煙率は13%（男子20%、女子5.8%）です。これは未成年を含んだ数字で、成人に限れば比率はもっと高いでしょう。そのほとんどは大学時代に喫煙習慣に踏み入り、なかには生涯そこから出られずにいる者も少なくないと推測されます。教育機関としてこのことに目をつぶっていいのか、というのが全面禁煙を実施している大学の共通の問題意識だと思われます。たとえ学生寮の居室であっても例外としないのはこのためです。

タバコの健康被害について

【本人への健康被害】

- ①タバコの煙に含まれるニコチンは、麻薬にも劣らない強い依存性を持っています。そのため、喫煙が習慣化しやすく、やめる事がとても難しい薬物です。
- ②喫煙がリスクを高める病気は、がん、脳卒中、動脈硬化、心筋梗塞、慢性閉塞性肺疾（COPD）、不妊・うつ等です。

【他者への健康被害】

- ①タバコを吸わない人が、他の人のタバコの煙を吸い込んでしまうことを**受動喫煙（セカンドハンドスモーキング）**と言います。
他の人が吸っているタバコの先から出る煙（副流煙）には、喫煙している本人が口から直接吸い込む煙（主流煙）よりも高い濃度の有害物質が含まれています。

タバコの副流煙に含まれる有害物質（主流煙との比較）

ニコチン…2.6～3倍	一酸化炭素…2.5～5倍
がん物質…1～30倍	アンモニア…40～170倍



- ②たばこの煙は、喫煙者の髪の毛、衣類、部屋のカーテンやソファなどにしみ込みそこから発せられる有害物質を吸うことを**3次喫煙（サードハンドスモーキング）**と言います。

参考：新版 喫煙と健康 保健同人社



生涯を通じて、より健康でいられるよう
禁煙について理解を深めましょう。

保健管理センター